

班会議プログラム

9:30~9:40

開会・ご挨拶

開会の辞
厚生労働省疾病対策課挨拶

研究代表者 今井尚志

9:40~10:30

難病相談支援センター

【座長】

佛教大学社会福祉学部 中田 智恵海 先生

1. 「福岡県難病相談・支援センターの今後の課題と展望」～センター活動の5年を振り返って～
吉良潤一¹⁾、○大道綾²⁾、立石貴久¹⁾、岩木三保²⁾

1)九州大学大学院医学研究院内科学、2)福岡県難病医療連絡協議会

2. 難病・相談支援センターと相談員支援員の位置づけ
○高畑隆¹⁾、椿井富美恵²⁾、今井尚志²⁾

1)埼玉県立大学、2)国立病院機構宮城病院

3. 難病相談支援センターに寄せられた相談と対応法の分析研究
今井尚志¹⁾、○神部陽子¹⁾、水谷浩²⁾、矢島正榮³⁾、川尻洋美⁴⁾、椿井富美恵¹⁾

1)国立病院機構宮城病院、2)東北福祉大学、3)群馬パース大学、4)群馬県難病相談支援センター

4. 新潟県難病相談支援センターにおける就労支援の現状と課題
—就労支援が長期化している相談から見えるもの—
西澤正豊¹⁾、○野水信子²⁾、渡部ミサヲ²⁾、毛原のり子²⁾、尾崎陽子²⁾、井浦正子²⁾、大平勇二²⁾、
斎藤博²⁾、隅田好美³⁾、小池亮子⁴⁾

1)新潟大学脳研究所神経内科、2)新潟県難病相談支援センター、3)新潟大学歯学部口腔生命福祉学科、4)国立病院機構西新潟中央病院

5. 障害者手帳のない難病のある人の職業的課題と支援の可能性
○春名由一郎

1)(独)高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター

10:30~11:10

プロジェクト(吸引・Q&A)

【座長】

北里大学医学部神経内科学 荻野 美恵子 先生

6. 在宅療養におけるホームヘルパー(第三者)への喀痰吸引指導の現状と今後の課題
南尚哉¹⁾、○品川美紀¹⁾、上村未来¹⁾、上井美保¹⁾、奥谷絵里¹⁾、鈴木穂波¹⁾、田代淳¹⁾、藤木直人¹⁾、
新野正明¹⁾、菊地誠志¹⁾

1)国立病院機構北海道医療センター

7. 在宅患者吸引支援のためのヘルパー指導・研修事業の実践について 中間まとめ

伊藤たてお¹⁾、○永森志織²⁾、森元智恵子³⁾、石澤由美子³⁾、小田幹子³⁾、岡本由加里³⁾、神成幸子³⁾

1) 日本難病・疾病団体協議会(JPA)、2) 難病支援ネット北海道、3) 難病支援ネット北海道安心ヘルパーQ 事業室

8. おもにヘルパーに対する吸引指導のためのマニュアルとDVDの作成

○川田明広¹⁾、久光夏央²⁾、高橋香織³⁾、川崎芳子³⁾、林朝子⁴⁾、山崎京子⁵⁾、露木菜緒⁶⁾、道又元裕⁶⁾、山本真⁷⁾、駒形清則⁸⁾、武部昭恵⁹⁾、川内裕子⁹⁾、椿井富美恵⁹⁾、今井尚志⁹⁾

1) 都立神経病院脳神経内科、2) 都立神経病院看護科、3) 都立神経病院地域医療連携室、4) 特定医療法人井上病院看護部、5) NPO 法人結いの里、6) 杏林大学医学部付属病院看護部、7) 大分協和病院、8) 医療法人財団ファミーユ 駒クリニック立石、9) 国立病院機構宮城病院

9. ウイルス肝炎患者の自立支援に向けた相談マニュアルの作成

○清水幸裕¹⁾、今井尚志²⁾

1) 高岡市民病院、2) 国立病院機構宮城病院

11:10~12:00

ピアサポート・患者会

【座長】

埼玉県立大学保健医療福祉学部 高畑 隆 先生

10. Webによるピアサポート研修の可能性と限界

○中田智恵海¹⁾

1) 佛教大学社会福祉学部

11. 膠原病患者のピアカウンセラーの現状と課題—「友の会」での相談ネットワーク作成に関わって— 田村裕昭¹⁾、○鎌田依里²⁾

1) 勤医協中央病院、2) 愛知県小牧市教育委員会

12. 神経・筋難病の患者会支援の試み

○青木正志¹⁾、関本聖子²⁾、遠藤久美子²⁾、佐藤裕子³⁾、久田葉子³⁾、五十嵐ひとみ³⁾、仙石美枝子³⁾、今井尚志⁴⁾、椿井富美恵⁴⁾、川内裕子⁴⁾、割田仁⁵⁾、鈴木直輝⁵⁾、金森洋子⁵⁾、糸山泰人⁶⁾

1) 東北大学病院神経内科、2) 宮城県神経難病医療連絡協議会、3) 東北大学病院地域医療連携センター、4) 国立病院機構宮城病院、5) 東北大学大学院医学系研究科神経内科、6) 国立精神神経センター医療研究センター病院

13. ボランティアが特定疾患患者と初めて出会うとき—心的変化と支援者支援—

高石浩一¹⁾、○風呂井たみ²⁾

1) 京都文教大学、2) 京都文教大学臨床心理学部

14. ナラティブ・アプローチからみるピア・サポートの意義と、「居場所」作りの困難—あるALS患者の自己物語構成に関する事例研究—

○伊藤智樹¹⁾、今井尚志²⁾

1) 富山大学人文学部、2) 国立病院機構宮城病院

12:00~13:00

お 昼 休 み

※お昼休みに班員会議を行います。

13:00~13:30

事 前 指 示

【座長】

富山大学人文学部 伊藤 智樹 先生

15. 関節リウマチ患者の終末期医療と「自律」に関わる課題

○田村裕昭¹⁾、南雅²⁾、室田ちひろ²⁾

1) 勤医協中央病院、2) 勤医協札幌ひがし訪問看護ステーション

16. 「生きていて欲しい」と願うことと自己決定を尊重することー臨床プラグマティズムの視点からー

○板井孝彦¹⁾

1) 宮崎大学医学部社会医学講座 生命・医療倫理学分野

17. 医師対象調査にみる事前指示の問題点ー課題と解決策

○伊藤道哉¹⁾、板井孝彦²⁾、伊藤博明³⁾、今井尚志⁴⁾、大隅悦子⁴⁾、中島孝³⁾、難波玲子⁵⁾、
稲葉一人¹⁾

1) 東北大学大学院医学系研究科医療管理学分野、2) 宮崎大学医学部社会医学講座、3) 国立病院機構宮城病院、
4) 国立病院機構新潟病院、5) 神経内科クリニックなんば、6) 中京大学大学院法学研究科

13:30~14:10

コミュニケーション関係

【座長】

神経内科クリニックなんば 難波 玲子 先生

18. 意思伝達装置の開発ー群馬県における取り組みー

岡本幸市¹⁾、○高橋則行²⁾、岡田美砂³⁾、小林希一郎⁴⁾、川尻洋美⁵⁾、金古さつき⁵⁾

1) 群馬大学大学院医学系研究科、2) 群馬県知事認可法人企業組合 S.R.D.、3) 群馬県神経難病医療ネットワーク、
4) 群馬県立義肢製作所、5) 群馬県難病相談支援センター

19. 光トポグラフィ意思伝達装置の改良に向けて(その3) 一手指の運動イメージを用いての意志表出ー

中野今治¹⁾、○森田光哉¹⁾、渡辺英寿²⁾、伊沢彩乃²⁾、小澤邦昭³⁾

1) 自治医科大学神経内科、2) 自治医科大学脳神経外科、3) 株式会社 日立製作所

20. TPPV 使用中の ALS 患者におけるコミュニケーション方法・摂食状況(現状報告)

荻野美恵子¹⁾、○雪本由美²⁾、安田菜穂²⁾、吉澤健太郎²⁾、正來隆³⁾、福田倫也²⁾、望月秀樹¹⁾

1) 北里大学医学部神経内科学、2) 北里大学病院 リハビリテーション部、3) 北里大学東病院 耳鼻咽喉科

21. 「ALS ちゃっとる一む」の現状と課題

溝口功一¹⁾、○今福恵子²⁾、山田健弘³⁾、深江久代²⁾

1) 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター、2) 静岡県立大学短期大学部、3) 日本 ALS 協会静岡県支部

14:10～14:30

コーヒーブレイク

14:30～15:20

療養環境整備 I

【座長】

日本難病・疾病団体協議会(JPA) 伊藤 たてお 先生

22. 難病相談室における自立支援体制の検討 —徳島大学病院における ALS 事例から(第2報)—

梶龍兒¹⁾、○杉原治美²⁾、和泉唯信³⁾、鎌田正紀³⁾、浅沼光太郎¹⁾、有内和代²⁾、磯谷佐代²⁾、
稲原久美子²⁾、桑内敬子²⁾

1) 徳島大学医学部臨床神経科学分野、2) 徳島大学病院地域医療連携センター 難病相談室、3) 徳島大学病院神経内科

23. NPO 法人「ポラリス」北海道神経難病研究会のこれまでの活動と課題

西山和子¹⁾、○澤井幹樹¹⁾

1) NPO 法人「ポラリス」北海道神経難病研究会

24. 神経難病患者の在宅生活を支援する有床診療所の役割と評価

西山和子¹⁾、○川島淳²⁾、深澤俊行²⁾、山崎寿弘²⁾、澤井幹樹²⁾

1) NPO 法人「ポラリス」北海道神経難病研究会、2) 医療法人セレスさっぽろ神経内科クリニック

25. 山陽神経難病ネットワークにおける自立支援体制確立の試み

阿部康二¹⁾、○森本展年¹⁾、松浦徹¹⁾、近藤洋介²⁾

1) 岡山大学病院神経内科、2) 岡山県難病相談支援センター

26. 南九州病院における神経難病の地域活動報告

福永秀敏¹⁾、○中村道代¹⁾、吉岡渚¹⁾、松本茜¹⁾、二宮さやか¹⁾、竹迫梨恵¹⁾、的場浩二¹⁾、後藤祥子¹⁾、
前田宏¹⁾、鳥丸章子¹⁾

1) 国立病院機構南九州病院

15:20～16:10

療養環境整備 II

【座長】

高岡市民病院消化器内科 清水 幸裕 先生

27. 災害時避難不要病棟の基盤技術

湯浅龍彦¹⁾、○土屋伸一²⁾

1) 鎌ヶ谷総合病院千葉神経難病医療センター・難病脳内科、2) 早稲田大学理工学研究所

28. 「重度障害者等包括支援」を利用した自立支援

○長谷川秀雄¹⁾

1)いわき自立生活センター

29. 看護・介護提供型住宅における神経難病患者受け入れ体制と今後の取り組み

南尚哉¹⁾、○沖下桂子²⁾、岩井公博²⁾、金野泰子³⁾、小林肇³⁾、成田美樹⁴⁾、高橋佐知子⁵⁾、斎藤久美⁶⁾

1)国立病院機構北海道医療センター、2)株式会社ネイチャー ナーシングホームなつれ、3)訪問看護ステーションめぐみ、
4)居宅支援事業所めぐみ、5)訪問看護ステーションゆう、6)居宅支援事業所ゆう

30. 岡山県における難病患者のレスパイト入院についての検討

難波玲子¹⁾、○守屋さとみ²⁾、榎野博史³⁾、高橋幸治¹⁾

1)神経内科クリニックなんば、2)岡山県難病医療連絡協議会、3)岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学

31. 特定疾患患者在宅療養における訪問看護師を支援する要因

○後藤清恵¹⁾²⁾、小池恵美¹⁾

1)国立病院機構新潟病院、2)新潟大学医歯学総合病院

16:10～16:40

療養環境整備Ⅲ

【座長】

鎌ヶ谷総合病院 千葉神経難病医療センター 湯浅 龍彦 先生

32. パーキンソン病患者支援プログラム構築の試み

南尚哉¹⁾、○佐々木栄子²⁾、雉子谷知子²⁾、有馬祐子¹⁾、本吉美也子²⁾、敦賀肇¹⁾、工藤絵梨果³⁾、
森若文雄²⁾

1)国立病院機構北海道医療センター、2)北海道医療大学、3)新さっぽろ脳神経外科病院

33. パーキンソン病に対する脳深部刺激治療の「生活の質(QOL)」に及ぼす効果の検討

中根俊成¹⁾、○本村真紀²⁾、岩崎智子³⁾、馬場勝江²⁾、福留隆泰⁴⁾、浦崎永一郎⁵⁾、松尾秀徳⁴⁾

1)国立病院機構長崎川棚医療センター臨床研究部・神経内科、2)国立病院機構長崎川棚医療センター 1病棟(神経内科病棟)、
3)国立病院機構長崎川棚医療センター 地域医療支援センター、4)長崎川棚医療センター 神経内科、5)長崎川棚医療センター脳神経外科

34. パーキンソン病短期入院リハビリテーションの効果 — 集団プログラムに関する検討 —

中島孝¹⁾、○高橋修¹⁾、阿部田世里¹⁾、小山登美子¹⁾、大島弘子¹⁾、徳間彩香¹⁾、樋口真也¹⁾

1)国立病院機構新潟病院

16:40～16:50

総合討論

16:50～17:00

閉会の辞

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

【 著書・総論・解説 】

著者名	タイトル			
深澤俊行、川島淳、西山和子、澤井幹樹、出井聡	特集「MS(多発性硬化症)とNMOC(視神経脊髄炎) 10.MS,NMOの医療と福祉の課題	BLAIN MEDICAL 22(4)	メデイカルレビュー社	73-77

【 学会 】

氏名	演題			
石川直美、宿南澄恵、西山和子、澤井幹樹	「多発性硬化症患者のインターフェロン自己注射における手技の実態調査」	日本難病看護学会誌14(1)		69

【 発表・講演 】

氏名	演題	学会・集会	主催
西山和子	多発性硬化症のケア	第13回 日本難病看護学会学術集会ランチョンセミナー	日本難病看護学会

研究成果の刊行に関する一覧表

【 書 籍 】

著者名	論文題名	書名	(書籍全体の編集者名)	出版社名	出版地名	頁	出版年
板井孝彦郎	臨床倫理レポートとは	安楽死問題と臨床倫理	石谷邦彦	青海社	東京	55-60	2009
板井孝彦郎	医学・医療の進歩と倫理	人間学入門	日本医学教育学会	南山堂	東京	68-70	2009
伊藤智樹	語り手に「なっっていく」ということ — 転換する病いの自己物語	〈支援〉の社会学—現場に向 き合う思考	崎山治男・伊藤智樹・佐藤 恵・三井さよ編	青弓社	日本	21-39	2008
伊藤智樹	セルフヘルプ・グループの自己 物語論—アールコホリズムと死別 体験を例に			ハーベスト社	日本		2009
高畑隆	精神障害者スポーツと他障害と の協働	スポーツ精神医学	内田直、保坂隆、大西守、高 畑隆、堀正士、金恵英、岡村 武彦、横山浩之	診断と治療社	東京	114-116	2009
高畑隆	その他の精神障害者スポーツの 現状	スポーツ精神医学	内田直、保坂隆、大西守、高 畑隆、堀正士、金恵英、岡村 武彦、横山浩之	診断と治療社	東京	125-127	2009
高畑隆	クローン病Aさんへのインタ ビュー	患者と作る医学の教科書	酒巻哲夫、岩本まり、大木里 美、大竹弘哲、加藤真三、喜 島智香子、北村聖、高畑隆、 藤江茂司、松下年子	日総研	名古屋	191-193	2009
高畑隆	演習患者が医療の現場で感じて いることを読み取り、解決策を考 える	患者と作る医学の教科書	酒巻哲夫、岩本まり、大木里 美、大竹弘哲、加藤真三、喜 島智香子、北村聖、高畑隆、 藤江茂司、松下年子	日総研	名古屋	240-243	2009
高畑隆	家族・セルフヘルプグループ	新・精神保健福祉士養成講 座3精神科リハビリテーション 学	岡上和雄、田中英樹、丸山	中央法規出版	東京	243-256	2009
高畑隆	障害者スポーツ	精神保健福祉士白書2011年版	精神保健福祉士白書編集委員 会	中央法規出版	東京	110	2010

研究成果の刊行に関する一覧表

西田美穂、鶴田真由美、馬場勝江、中根俊成	レスパイト受け入れ体制の構築と具体的状況	難病と在宅ケア					30-34	2010
中野今治	運動ニューロン疾患	新臨床内科学 第9版	高久史麿、尾形悦郎、黒川清、矢崎義雄 監修	東京	(株)医学書院		1202-1208	2009
福永秀敏	家族の対応と家族の工夫	よくわかるパーキンソン病のマネジメント	田代邦雄	大阪	医薬ジャーナル社		70~75	2008
園田至人、福永秀敏	呼吸障害、各痰吸引と補助呼吸器	高齢者神経疾患のトータルマネジメント	阿部康二	東京	新興医学出版社		742~744	2008
福永秀敏	リハビリ、手術、日常での対策	パーキンソン病がわかる本	福永秀敏、長谷川一子	東京	法研		169~199	2010
南尚哉	自律神経作用薬	治療薬ハンドブック 薬剤選択と処方のポイント 2008	高久史麿		じほう		137-139	2008
南尚哉	自律神経作用薬	治療薬ハンドブック 薬剤選択と処方のポイント 2009	高久史麿		じほう		142-145	2009
南尚哉	自律神経作用薬	治療薬ハンドブック 薬剤選択と処方のポイント 2010	高久史麿		じほう		153-155	2010

研究成果の刊行に関する一覧表

【 雑 誌 】

著者名	論文題名	雑誌名	巻	頁	出版年
Ohnari K, Aoki M, Uozumi T, Tsuji S.	Severe symptoms of 16q-ADCA coexisting with SCA8 repeat expansion	J Neurol Sci	273	15-18	2008
加藤暁広、鈴木直輝、青木正志、割田 仁、神 一敬、糸山泰人	長期人工呼吸管理下に気管腕頭動脈梗がらの急性出血で死亡した家族性ALSの一例	臨床神経学	48	60-63	2008
祢津昌広、鈴木直輝、水野秀紀、高井良樹、三須達郎、青木正志、中島一郎、糸山泰人	細菌性髄膜炎との鑑別を要した神経ベーチェット病の1例	臨床神経学	48	750-753	2008
Endo K, Suzuki N, Misu T, Aoki M, Itoyama Y	Dorsal roots enhancement and Wallerian degeneration of dorsal cord in the patient of acute sensory ataxic neuropathy	J Neurol	256	1765-1766	2009
Endo K Suzuki N, Ikenishi T, Aoki M, Itoyama Y	Intravenous immunoglobulin treatment successfully improved subacute progressive polyradiculopathy with polyclonal gammopathy	Intern Med	48	2037-2039	2009
青木正志	ALSに対する再生医療および新薬開発の状況	難病と在宅ケア	15	34-35	2009
Ohta M, Okuyama R, Ogawa E, Kisu K, Sato H, Aoki M, Aiba S.	Cutaneous accumulation of polyglutamine stretches of patients with dentatorubral-pallidoluysian atrophy	Eur J Neurol	16	1246-9	2009
青木正志	神経難病の新展開 筋萎縮性側索硬化症	Bio Clinica	25	48-53	2010
Morimoto, N. Nagai, M. Miyazaki, K. Ohta, Y. Kurata, T. Takehisa, Y. Ikeda, Y. Matsuura, T. Asanuma, M. Abe, K.	Induction of parkinsonism-related proteins in the spinal motor neurons of transgenic mouse carrying a mutant SOD1 gene.	J Neurosci Res.	88	1804-1811	2010
Tian, F. Deguchi, K. Yamashita, T. Ohta, Y. Morimoto, N. Shang, J. Zhang, X. Liu, N. Ikeda, Y. Matsuura, T. Abe, K.	In vivo imaging of autophagy in a mouse stroke model.	Autophagy	6	1107-1114	2010
Maruyama, H. Abe, K. Kawakami, H, et al.	Mutations of optineurin in amyotrophic lateral sclerosis.	Nature	465	223-226	2010

研究成果の刊行に関する一覧表

倉田智子、阿部康二	PAとPSPの重要な鑑別点	循環器内科	68	316-323	2010
阿部康二	各種疾患におけるめまい、神経疾患	臨床と研究	Mar-00	1078-1082	2010
Koichiro ITAI	Theoretical debates on methodologies in clinical ethics; Top-down, bottom-up, and clinical pragmatism as a third model	Eubios Journal of Asian and International Bioethics	Vol.21, No.1	5-8	2011
板井孝彦郎	終末期における「事前指示」のあり方について	宮崎県医師会医学雑誌	Vol.34, No.2	79-83	2010
板井孝彦郎	倫理教育の進め方と指導者の心構え	看護人材教育	Vol.7, No.5	65-71	2010
板井孝彦郎	倫理教育の基礎と実践: 倫理問題を「個人の悩み」にしないために	看護人材教育	Vol.7, No.4	45-50	2010
下窪徹、板井孝彦郎	肺癌末期の呼吸苦に非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)が有効であった症例	臨床と研究	Vol.87, No.7	114-116	2010
児玉知子、浅井篤、板井孝彦郎	医学部における医療倫理教育の現状について - 全国医学部調査より	医学教育	Vol.40, No.1	14-20	2009
Miki Fukuyama, Atsushi Asai, Koichiro Itai, Seiji Bito	A Report on Small Team Clinical Ethics Consultation Programs in Japan	Journal of Medical Ethics	Vol.34	858-862	2008
Sachi Chiba, Koichiro Itai, Yachiyo Tsuchiya, Motoki Onishi, Shinji Kosugi, Atsushi Asai	Attitudes of Japanese bioethical educators towards life-sustaining treatment in the Wendland case, A descriptive study	Eubios Journal of Asian and International Bioethics	Vol.18, No.2	34-40	2008
福山美季、浅井篤、板井孝彦郎、尾藤誠司	臨床倫理コンサルタンとは何者であるべきか	生命倫理	Vol.19	98-105	2008
Atsushi Asai, Koichiro Itai, Keiichi Shioya, Kazuko Saita, Mami Kayama, Shimichi Izumi	Qualitative Research on Clinical Ethics Consultation in Japan - the Voices of Medical Practitioners	General Medicine	Vol.9, No.2	47-55	2008
伊藤智樹	英雄になりきれぬままに——パーキンソン病を生きる物語と、いまだそこにある苦しみについて	社会学評論	241	52-68	2010
植竹日奈	筋萎縮性側索硬化症患者の人工呼吸器選択過程におけるソーシャルワーカーの役割	医療	Feb-62	78-83	

研究成果の刊行に関する一覧表

Makioka K, Ikeda M, Ikeda Y, Nakasone A, Osawa T, Sasaki A, Otani T, Arai M, Okamoto K	Familial amyloid polyneuropathy (Finnish type) presenting multiple cranial nerve deficits with carpal tunnel syndrome and orthostatic hypotension	Neurol Res	32	472-475	2010
Makioka K, Yamazaki T, Fujita Y, Takatama M, Nakazato Y, Okamoto K	Involvement of endoplasmic reticulum stress defined by activated unfolded protein response in multiple system atrophy	J Neurol Sci	297	60-65	2010
Noguchi A, Nawa M, Aiso S, Okamoto K, Matsuoka M	Transforming growth factor β 2 levels are elevated in neurons of Alzheimer's disease's brain	Int J Neurosci	120	168-175	2010
Okamoto K, Fujita Y, Mizuno Y	Pathology of protein synthesis and degradation system in ALS	Neuropathology	30	189-193	2010
Yamamoto-Watanabe Y, Watanabe M, Okamoto K, Fujita Y, Jackson M, Ikeda M, Nakazato Y, Ikeda Y, Matsubara E, Kawarabayashi T, Shoji M	A Japanese ALS6 family with mutation R521C in the FUS/TLS gene: a clinical, pathological and genetic report	J Neurol Sci	296	59-63	2010
Ikeda M, Kawarabayashi T, Harigaya Y, Sasaki A, Yamada S, Matsubara E, Murakami T, Tanaka Y, Kurata T, Wuhua X, Ueda K, Kuribara H, Ikarashi Y, Nakazato Y, Okamoto K, Abe K, Shoji M	Motor impairment and aberrant production of neurochemicals in human alpha-synuclein A30P+A53T transgenic mice with alpha-synuclein pathology	Brain Res	1250	232-241	2009
Ishibashi S, Yamazaki T, Okamoto K	Association of autophagy with cholesterol-accumulated compartments in Niemann-Pick disease type C	J Clin Neurosci	16	954-959	2009
Kadokura A, Yamazaki T, Kakuda S, Lemewre CA, Fujita Y, Takatama M, Okamoto K	Phosphorylation-dependent TDP-43 antibody detects intraneuronal dot-like structures showing morphological characters of granulovacuolar degeneration	Neurosci Lett	463	87-92	2009
Kadokura A, Yamazaki T, Lemewre CA, Takatama M, Okamoto K	Regional distribution of TDP-43 inclusions in Alzheimer Disease (AD) brain: their relationship to AD common pathology	Neuropathology	29	566-573	2009
Makioka K, Yamazaki T, Okamoto K	Variations in the effects on synthesis of amyloid beta protein in modulated autophagic conditions	Neurol Res	31	959-968	2009

研究成果の刊行に関する一覧表

Mizuno Y, Guyon JR, Okamoto K, Kunkel LM	Expression of synemin in the mouse spinal cord	Muscle Nerve	39	634-641	2009
Fujita Y, Mizuno Y, Takatama M, Okamoto K	Anterior horn cells with abnormal TDP-43 immunoreactivities show fragmentation of the Golgi apparatus in ALS	J Neurol Sci	269	30-34	2008
Hashimoto Y, Muramatsu K, Uemura T, Harada R, Sato T, Okamoto K, Harada A	Neuron-specific and inducible recombination by Cre recombinase in the mouse	Neuroreport	19	621-624	2008
Kaneko Y, Kaneko Y, Ohnishi H, Tomizawa T, Okejo J, Saito Y, Okuzawa C, Murata Y, Okazawa H, Nojima Y, Okamoto K, Matozaki T	Impaired proliferation and Th1 differentiation of CD4+ T cells of SHPS-1 mutant mice	Kitakanto Medical Journal	58	133-139	2008
Kogure T, Tatsumi T, Kaneko Y, Okamoto K	Rheumatoid arthritis accompanied by Parkinson disease	J Clin Rheumatol	14	192-193	2008
Okamoto K, Mizuno Y, Fujita Y	Bunina bodies in amyotrophic lateral sclerosis	Neuropathology	28	109-115	2008
Okamoto K, Yamazaki T, Banno H, Sobue G, Yoshida M, Takatama M	Neuropathological studies of patients with possible non-herpetic acute limbic encephalitis and so-called acute juvenile female non-herpetic encephalitis	Internal Med	47	231-236	2008
Yokoseki A, Shiga A, Tan CF, Tagawa A, Kaneko H, Koyama A, Eguchi H, Tshujino A, Ikeuchi T, Kakita A, Okamoto K, Nishizawa M, Takahashi H, Onodera O	TDP-43 mutation in familial amyotrophic lateral sclerosis	Ann Neurol	65	538-542	2008
川田 明広、溝口 功一、林 秀明	Tracheostomy positive pressure ventilation (TPPV)を導入したALS患者のtotally locked-in state (TLS)の全国実態調査	臨床神経学	48	476-480	2008
川田明広	TPPV・ALS患者さんの長期在宅呼吸療養での継続困難要因	難病と在宅ケアVol. 13 No.10	13	19-21	2008
川田明広	医療依存度の高い神経筋疾患患者さんに対応するヘルパーへの技術指導方法。	難病と在宅ケアVol. 16 No.3	16	23-26	2010
川田明広	最新のALSケアについて～都立神経病院の経験から～	機関誌JALSA		8-14	2010

研究成果の刊行に関する一覧表

高畑隆	全国障害者スポーツ大会正式種目と精神障害者	埼玉県立大学紀要	9	85-90	2008
高畑隆	患者力	埼玉県立大学紀要	9	105-110	2008
高畑隆	精神障害者とスポーツ大会	こころの元気PLUS	7	24-25	2008
高畑隆	全国障害者スポーツ協会と精神障害者	埼玉県立大学紀要	10	43-48	2009
高畑隆	精神障害者とスポーツ大会	埼玉県立大学紀要	10	49-55	2009
高畑隆	ピアサポーターとは	外来小児科	12(4)	456-457	2009
高畑隆	スポーツと精神障害者の社会統一埼玉県における種目の活用と構造化ー	スポーツ精神医学	7	57-63	2010
高畑隆	スポーツ精神医学におけるコメディカルの役割ー精神保健福祉士の立場から	スポーツ精神医学	7	A16	2010
高畑隆、大木里美、藤江茂司、他	患者と作る医学の教科書	医学教育	41	154	2010
加藤真三、酒巻哲夫、松下年子、高畑隆、他	「患者と作る医学の教科書」を使ったプロジェクト講義の開催	医学教育	41	106	2010
高畑隆	ピアサポーター体験者でないとはならないー	埼玉県立大学紀要	11	79-84	2010
多田羅勝義、石川悠加、今井尚志、河原仁志、神野進、西間三馨、福永秀敏	国立病院機構における長期人工呼吸患者の実態	日本呼吸ケアリハビリテーション学会誌	17(1)	57-62	2007.4
今井尚志、大隅悦子	第21章 筋萎縮性側索硬化症疾患の概略	誰にでも分かる神経筋疾患119番	日本ブロンニングセンター	147-148	2007.4
今井尚志、大隅悦子、木村格	全国的な自立支援体制づくりの現状と将来	神経難病のすべて	新興医学出版社	193-197	2007
上田耕太郎、栗本育三郎、臼井邦人、青柳宏昭、大久保亜美、益満知世、今井尚志	神経難病患者のためのネットワーク対応在宅医療支援システムの開発	日本福祉工学会	9(1)	14-19	2007.5
椿井富美恵、今井尚志	ALS専門チーム医療を目指して	難病と在宅ケア	Vol.13 No.4	55-56	2007.7
今井尚志、大隅悦子	特集“症例にみる難病患者の在宅ケア”オーバービュー	JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION	Vol.16 No.8	700-704	2007.8

研究成果の刊行に関する一覧表

今井尚志、春名由一郎	「難病中の難病」のある人への自立生活と就業の一体的支援	職リハネットワーク	No.61	29-33	2007.9
Takashi I, Fumie T, Yuko K, Kodaira S, Etsuko O	The role of medical institutions specializing in ALS	MORTOR NEURONE DISEASE ASSOCIATION	Abstracts from Themel1	21	2007
多田羅勝義、石川悠加、今井尚志、市原典子、神野進、西間三馨、福永秀敏	国立病院機構における長期人工呼吸患者の実態－三年間にわたる調査のまとめと今後の課題－	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌	18	117	2008
大隅悦子、今井尚志、木村格	ALS専門医療機関の役割－ALSケアセンターの取組みから－	臨床神経学	48(12)	1082	2008
伊藤博明、中島孝、板井孝壺郎、伊藤道哉、今井尚志	事前指示の原則をめぐって	「痛と化学療法」誌(12月臨時増刊号)	第36巻 Supplement I	66-68	2009
多田羅勝義、石川悠加、今井尚志、市原典子、神野進、西間三馨、福永秀敏	神経筋疾患の人工呼吸法の検討－国立病院機構施設における長期人工呼吸患者の実態調査より－	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌	19	169s	2009
今井尚志	重症難病医療ネットワークおよび難病相談・支援センターの構築	臨床神経学	49(11)	868-869	2009
板井孝壺郎、伊藤博明、伊藤道哉、今井尚志、中島孝、難波玲子	Chapter11 人工呼吸器ケアに関する倫理問題	在宅人工呼吸器ポケットマニュアル 暮らしと支援の実際 医歯薬出版(株)	第1版	169-192	2009
多田羅勝義、石川悠加、今井尚志、市原典子、神野進、西間三馨、福永秀敏	国立病院機構施設における長期人工呼吸患者の実態－第三報－	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌	19(2)	151-155	2009
今井尚志、大隅悦子、久永欣哉	特集 神経難病における在宅支援とネットワーク 総論「難病患者を支援するための連携について」	地域リハビリテーション	Vol.5(7)	1-4	2010
大隅悦子、今井尚志	総論：進行性疾患のリハビリテーションとは何か	難病と在宅ケア	16(4)	7-10	2010
多田羅勝義、石川悠加、市井典子、河原仁志、今井尚志、神野進、西間三馨、福永秀敏	原著：国立病院機構における神経筋疾患の長期人工呼吸の実態－人工呼吸器の標準化に向けて－	医療	64(4)	257-263	2010

研究成果の刊行に関する一覧表

今井尚志、大隅悦子、久永欣哉	特集:総論:難病者を支援するための連携について	地域リハビリテーション	5 (7)	586-589	2010
大隅悦子、今井尚志	特集/在宅感染症の予防対策最前線[第4部]胃腸にまつわるトランプルとその対処法〜リハビリテーション専門医の立場から〜	難病と在宅ケア	16 (9)	22-25	2010
河野龍平	上気道症状、消化器症状など非特異的	北勤医誌	30	83〜87	2006
田村裕昭	症状で発症した成人ステイル病の1例				
田村裕昭	勤医協中央病院における臨床倫理検討会と公開倫理委員会の取り組み	民医連医療	424	10〜12	2007
Tamura H.	The effect and problem of anti-TNF α agents in patients with AA amyloidosis secondary to rheumatoid arthritis	Mod.Rheumatology	18	S224	2008
Hasegawa K, Matsumoto T, Tamura H	The case represented reactive arthritis following toxic shock syndrome caused by Group B streptococcus infection	Mod.Rheumatology	18	S109	2008
Hasegawa K, Matsumoto T, Tamura H	70 years old man diagnosed for Fabry disease accompanying renal dysfunction and lung involvement similar to that of vascular disorders	Mod.Rheumatology	18	S170	2008
Hasegawa K, Matsumoto T, Tamura H	The case report for the patients with abrupt development for antibody-mediated autoimmune disease of myasthenia garavis on serologically negative rheumatoid arthritis	Mod.Rheumatology	18	S182	2008
Matsumoto T, Hasegawa K	Two cases of primary Sjogren's syndrome accompanied by pancytopenia which ameliorate after administration of prednisolone	Mod.Rheumatology	18	S205	2008
Tamura H	A case with RA and AA amyloidosis that developed leukocytopenia during the first administration of tocilizumab	Mod.Rheumatology	19	S187	2009
田村裕昭	臨床倫理と図書館機能に期待するもの	北海道病院ライブラリー 研究会ニューズレター	118	46-49	2009

研究成果の刊行に関する一覧表

田村裕昭	関節リウマチに続発するAAアミロイドーシスの現況と課題	日臨免誌	32	35-42	2009
田村裕昭	慢性期SLE患者のQOL調査	第29回札幌市病院学会講演集	29	165-167	2009
田村裕昭	生物製剤が関節リウマチ患者の家計と自立に及ぼす影響	第30回札幌市病院学会講演集		107~109	2010
田村裕昭	臨床倫理と病院図書館機能の重要性	北海道勤医協医学雑誌(北勤医誌)	32	1~7	2010
鎌田依里、田村裕昭	SLE患者にとっての結婚—結婚を通してみてきた援助者の課題	北海道勤医協医学雑誌(北勤医誌)	32	67~74	2010
Tamura H	Effects of Tocilizumab in RA patients complicated with AA amyloidosis	Mod.Rheumatology	20	S279	2010
小澤哲夫、後藤清恵、中島孝	筋ジストロフィーにおける遺伝カウンセリング体制の構築	難病と在宅ケア			印刷中
中島孝、会田泉、三吉政道、樋口真也、米持洋介、高原誠	ALSの在宅NPPVケア	日本在宅医学会雑誌	12(2)	206-216	2011
中島孝、白井良子	セントグリストファーホスピスから日本へ吹く風、ホスピス緩和ケアの誤解をなく	訪問看護と介護	15(11)	864-872	2010
中島孝、小澤哲夫、会田泉、樋口真也、米持洋介、三吉政道、近藤浩、木下悟	筋ジストロフィー診療の現状 診断から治療まで(その2)(症状コントロールと包括的ケア)	超音波検査技術	35(4)	433-445	2010
中島孝	ALS患者の在宅医療 QOL評価	Journal of Clinical rehabilitation	19(6)	589-596	2010
飯田秀博、渡部浩司、銭谷勉、越野一博、平野祥之、石田良雄、宮本恵宏、野口輝夫、森脇博、横田千晶、福島和人、中川原謙二、山田章吾、松田博史、中島孝、丸野廣大、畑澤順、橋川一雄、鈴木倫保	SPECT検査の精度向上と施設間誤差のない標準的画像診断法の確立	新しい医療機器研究	15	95-96	2010
Hashimoto R, Tanaka Y, Nakano I	Heading Disorientation : A new tesu and a possible underlying mechanism.	Eur Neurol	63	87-93	2010
Muramatsu S, Fujimoto K, Kato S, Mizukami H, Asari S, Ikeguchi K, Kawakami T, Urabe M, Kume A, Sato T, Watanabe E, Ozawa K, Nakano I	A phase I study of aromatic L-amino acid decarboxylase gene therapy for parkinson's disease.	Molecular Therapy	18	1731-35	2010

研究成果の刊行に関する一覧表

Doi, Y, Yokoyama T, Tango T, Takahashi K, Fujimoto K, Nakano I	Temporal trends and geographic clusters of mortality from amyotrophic lateral sclerosis in Japan, 1995-2004.	J Neurol Sci	298	78-84	2010
秋本千鶴、森田光哉、山本正彦、中野今治	脳幹聴覚誘発電位の中枢伝導時間延長が手ばかりとなり、Cx32に新規の遺伝子変異が確認されたCMTX1の成人男性例	臨床神経学	50	399-403	2010
嶋崎晴雄、安藤綾子、中村優子、神林 崇、田中恵子、中野今治	経過中にposterior reversible encephalopathy syndrome (PRES)と甲状腺癌を合併した視神経脊髄炎の47歳女性例	日本内学会雑誌	99	163-165	2010
中野今治	パーキンソン病の遺伝子治療-実用化に向けて	日本医事新報	4482	73-80	2010
中野今治	古典型ALSの神経病理-下位運動ニューロンにみられるもの	医学のあゆみ	235	220-226	2010
Atsuta N, Watanabe H, Ito M, Tanaka F, Tamakoshi A, Nakano I, Aoki M, Tsuji S, Yuasa T, Takano H, Hayashi H, Kuzuhara S, Sobue G, Research Committee on the Neurodegenerative Diseases of Japan.	Age at onset influences on wide-ranged clinical features of sporadic amyotrophic lateral sclerosis.	Neurol Sci.	Jan15;276	163-169	2009
Hara K, Shiga A, Fukutake T, Nozaki H, Miyashita A, Yokoseki A, Kawata H, Koyama A, Arima K, Takahashi T, Ikeda M, Shiota H, Tamura M, Shimoe Y, Hirayama M, Arisato T, Yanagawa S, Tanaka A, Nakano I, Ikeda S, Yoshida Y, Yamamoto T, Ikeuchi T, Kuwano R, Nishizawa M, Tsuji S, Onodera O.	Association of IITRA1 mutations and familial ischemic cerebral small-vessel disease.	N Engl J Med	360	1729-39	2009
Okuno T, Nakayama T, Konishi N, Michibata H, Wakimoto K, Suzuki Y, Nito S, Inaba T, Nakano I, Muramatsu S, Takano M, Kondo Y, Inoue N.	Self-contained induction of neurons from human embryonic stem cells.	PLoS ONE	e6318		2009
Muramatsu S, Okuno T, Suzuki Y, Nakayama T, Kakiuchi T, Takino N, Iida A, Ono F, Terao K, Inoue N, Nakano I, Kondo Y, Tsukada H.	Multitracer assessment of dopamine function after transplantation of embryonic stem cell-derived neural stem cells in a primate model of Parkinson's disease.	SYNAPSE	63	541-48	2009
藤原雅代、森田陽子、松坂恵介、中野今治、福田隆浩	著明な自律神経症状を呈した末梢神経障害の59歳男性例。	BRAIN and NERVE	61 (9)	1089-97	2009

研究成果の刊行に関する一覧表

安藤喜仁、澤田幹雄、森田光哉、河村 満、中野今治	左中前頭回後部限局性梗塞により不全型 Gerstmann症候群・超皮質性感覚失語を呈した65歳男性例。	臨床神経学	49	560-565	2009
中野今治	Alexander病	Clinical Neuroscience	27;7	722-23	2009
中野今治	日本で初めてのパーキンソン病遺伝子治療	難病と在宅ケア	15(6)	40-43	2009
Shimazaki H, Vazifehmand R, Heidari M.H, Khorram-Khorshid H.R, Saber S, Hejazi S, Aghakhani-Moghadam F, Ouyang Y, Honda J, Naknao I, Takiyama Y.	72. A large family with spinocerebellar ataxia type 6 In Iran: A Clinical and Genetic study.	Arch Iranian Medicine	11	459-462	2008
Yokota O, Tsuchiya K, Terada S, Ishizu H, Uchikado H, Ikeda M, Oyanagi K, Nakano I, Murayama S, Kuroda S, Akiyama H.	Basophilic inclusion body disease and neuronal intermediate filament inclusion disease: a comparative clinicopatological study.	Acta Neuropathol	115	561-575	2008
Shimazaki H, Morita M, Nakano I.	Inverse ocular bobbing in a patient with encephalitis associated with antibodies to the N-methyl-D-aspartate receptor.	Arch Neurol	65	1251	2008
Ouyang Y, Segers K, Bouquiaux O, Wang FC, Janin N, Andris C, Shimazaki H, Sakoe K, Nakano I, and Takiyama Y.	Novel SACS mutation in a Belgian family with saccin-related ataxia.	J Neurol Sci	264	73-76	2008
Hasegawa M, Arai T, Nonaka T, Kametani F, Yoshida M, Hashizume Y, Beach T.G, Buratti E, Baralle F, Morita M, Nakano I, Oda T, Tsuchiya K, Akiyama H.	Phosphorylated TDP-43 in fronto temporal lobar degeneration and amyotrophic lateral sclerosis.	Ann Neurol	64	60-70	2008
難波 玲子	在宅神経難病患者の終末期ケアー条件と課題一	特定疾患の生活の質(QOL)の向上に資するケアの在り方に関する研究班研究報告書	平成16年度	72-74	2005
難波 玲子	筋萎縮性側索硬化症患者の在宅サービス利用状況と課題	特定疾患の生活の質(QOL)の向上に資するケアの在り方に関する研究班研究報告書	平成16年度	75-76	2005
難波 玲子	神経難病の終末期緩和ケア	癌と化学療法	vol.33 suppl. II	239-242	2006
難波 玲子	各疾患の終末期緩和治療の経過	難病と在宅ケア	日本ブライニングセンター		2008

研究成果の刊行に関する一覧表

難波 玲子	神経難病の在宅終末期ケア－緩和医療の重要性－	神経難病の在宅終末期ケア－緩和医療の重要性－	特定疾患の生活の質(QOL)の向上に資するケアの在り方に関する研究班研究報告書	平成19年度	2008
難波 玲子	ALS患者の在宅医療 1.在宅医療のどらえかた	ALS患者の在宅医療 1.在宅医療のどらえかた	J Clinical Reha	vol. 18 No 9	2009
難波 玲子、高橋 幸治他	非侵襲的人工換気(NPPV)の継続困難時の苦痛とその緩和の重要性(第一報)	非侵襲的人工換気(NPPV)の継続困難時の苦痛とその緩和の重要性(第一報)	特定疾患の生活の質(QOL)の向上に資するケアの在り方に関する研究班研究報告書	平成20年度	2009
難波 玲子、高橋 幸治他	非侵襲的人工換気(NPPV)が限界になったときの苦痛緩和－重要性と問題点－	非侵襲的人工換気(NPPV)が限界になったときの苦痛緩和－重要性と問題点－	特定疾患の生活の質(QOL)の向上に資するケアの在り方に関する研究班研究報告書	平成21年度	2010
難波 玲子	神経筋疾患の疼痛ケア、神経難病患者さんの疼痛をどうしたら良いか	神経筋疾患の疼痛ケア、神経難病患者さんの疼痛をどうしたら良いか	難病と在宅ケア	vol.16	2010
難波 玲子、成田 勇吾、橋本 司、荻野美恵子、高橋貴美子	一般在宅医のための神経難病マニュアル	一般在宅医のための神経難病マニュアル	勇美記念財団報告書	http://www.zaitakuiryoyuuzimaidan.com/main/result.php?year=2009	2009
Takado Y, Igarashi H, Terajima K, Shimohata T, Ozawa T, Okamoto K, Nishizawa M, Nakada T	In vivo assessment of brainstem metabolites in multiple system atrophy with predominant cerebellar ataxia using proton magnetic resonance spectroscopy on a 3.0 T system	In vivo assessment of brainstem metabolites in multiple system atrophy with predominant cerebellar ataxia using proton magnetic resonance spectroscopy on a 3.0 T system	Mov Disord		
Kawamura K, Shimohata T, Nakayama H, Tomita M, Ozawa T, Nishizawa M	Factors influencing the cognitive function in patients with multiple system atrophy	Factors influencing the cognitive function in patients with multiple system atrophy	Mov Disord	25(16)	2010
Nozaki I, Hamaguchi T, Sakai K, Noguchi-Shinohara M, Nakamura Y, Sato T, Kitamoto T, Mizusawa H, Sanjo N, Moriwaka F, Shiga Y, Kuroiwa Y, Nishizawa M, Kuzuhara S, Inuzuka T, Takeda M, Kuroda S, Abe K, Murai H, Murayama S, Tateishi J, Takumi I, Sirabe S, Harada M, Yamada M	Prospective 10-years surveillance for human prion diseases in Japan	Prospective 10-years surveillance for human prion diseases in Japan	Brain	133(10)	2010
Katsuno M, Banno H, Suzuki K, Takeuchi Y, Kawashima M, Yabe I, Sasaki H, Aoki M, Morita M, Nakano I, Kanai K, Ito S, Ishikawa K, Mizusawa H, Yamamoto T, Tsuji S, Hasegawa K, Shimohata T, Nishizawa M, Miyajima H, Kanda F, Watanabe Y, Nakashima K, Tsujino A, Yamashita T, Uchino M, Fujimoto Y, Tanaka F, Sobue G	Efficacy and safety of leuprorelin in patients with spinal and bulbar muscular atrophy (JASMITT study): a multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled trial	Efficacy and safety of leuprorelin in patients with spinal and bulbar muscular atrophy (JASMITT study): a multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled trial	Lancet Neurol	9(9)	2010